

かほく市地域包括支援センター運営協議会 平成 29 年度第 2 回会議報告

招集年月日	平成 30 年 3 月 16 日 (金)
招 集 場 所	かほく市役所 議会庁舎第 1 会議室
開 会 日 時	平成 30 年 3 月 16 日 (金) 午後 1 時 30 分
閉 会 日 時	同 午後 2 時 30 分
委員の定数	10 人
出 席 委 員	北 勝利、大野洋治郎、木村喜一郎、金谷征毅、 東敦子、塚田 久恵、西盛さよ子、高田政美 (以上 8 人)
欠 席 委 員	寺西衣姫、遠田由美子 (以上 2 人)
事 務 局	長寿介護課長：寺嶋立弥、長寿介護課長補佐：竹田昌代 高齢者支援係：網江
議 事 の 経 過	
会長進行	
事務局より	議件 1) 平成 29 年度高齢者支援センター業務実績見込報告書について説明
順次説明	(質疑応答)
委員	・総合事業について、利用者への周知や理解は少しずつ浸透してきていると思う。利用者に不便さをかけていることはないと思う。
事務局	・百歳体操の自主グループの中で、ドロップアウトしたところはないか。 ・市職員やパレット等が継続支援、体力測定を実施しフォローしているので、問題ない。
委員	・百歳体操の立ち上げしている地区の偏りはないか。
事務局	・万遍なくグループが立ち上がっていると思う。自分の地域に行きたくない人は、公共施設や体育館で実施しているところに参加している。 まだ立ち上がっていない地域でも、他のところで立ち上ると良い刺激になり体験講座の申し込みがでたりしている。
委員	・百歳体操の効果はどうか。
事務局	・体力向上・外出の機会となり、閉じこもり予防・体操だけでなく茶話会もあり精神面でのフォローにもなっている。
委員	・老人会は人集めが大変。老人会に入れる年になっても 65 歳くらいまで皆働いているし参加するのはどうしても 70 代以降の年代。また参加するメンバーは同じになりがち。有名な人等が講演するなど企画がよければ何にもしなくても参加者は集まるが。お金がかからずに楽しい企画があるとよい。実際には、集まりに出てこないひとにぜひ来てほしいと思っているが、それが難しい。
委員	「平穩死の意味」の講演会は自分自身すごく考えさせられた。
委員	・どうやって市役所では、人数を集めているのか。

事務局	・実態調査で興味関心のあると回答している人、民生委員、老人会等に個別にご案内を出している。
委員	・社会福祉協議会でも権利擁護の研修会は企画しているが、高齢者虐待という別のテーマで地域に出向き開催されたのは良いことだと思う。
事務局説明	議件 2) かほく市地域包括支援センター(高齢者支援センター)運営方針及び平成 30 年度の重点事業について (質疑応答)
委員	・小学校への認知症の普及啓発についてどのように実施されているのか。
事務局	・数年前より、大海小⇄看護大の中道先生講師でシリーズ化し認知症の普及啓発活動を実施されている。
委員	・お達者ですか訪問は、認定のかかる前の支援の必要な方々の掘り起こしは良いことなので、継続してやってほしい。
事務局説明	議件 3) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託事業所の承認について 新規事業所 5 件分を説明 拍手にて全員承認
会長	本日の日程が終了したことを告げ、かほく市地域包括支援センター運営協議会第 2 回会議を閉会したことを宣言する。